

EUの環境協力経験 — 政策、成功事例、課題と展望

日時： 2025年4月30日（水）

12:30～14:10

会場：宇都宮大学峰キャンパス
4B33教室 + オンライン

※Zoom参加は要申し込み



ヨーロッパ連合（EU）は、環境問題への国際的な取り組みをリードしてきた地域のひとつです。この講演では、EUがどのように環境政策をつくり、国境を越えて協力し、持続可能な社会づくりを進めてきたのかを、具体的な事例とともに紹介します。

「欧州グリーンディール」や「排出量取引制度（ETS）」、「循環型経済（サーキュラーエコノミー）」などの政策を通じて、EUがどのように各国の協調を実現しているのかを分かりやすく解説します。また、バルト海の海洋汚染対策や、再生可能エネルギーの国際ネットワーク構築といったプロジェクトを取り上げ、環境分野における協力の課題や今後の可能性について考えます。

最後に、太陽光発電の国際研究などを例に、環境問題の解決に向けた知識や技術の共有・連携についても触れます。国際協力の「今」と「これから」を、一緒に考えてみませんか？



講師プロフィール

Lars Strupeit 博士

工学博士（ルンド大学）。ドイツ生れ。ドイツでエネルギー工学を修学、再エネ事業経験後、スウェーデン・ルンド大学にて長年研究や国際協力等の事業に従事。研究テーマは、再生可能エネルギー、省エネルギー、循環型経済、地域主導のエネルギー移行などを含むエネルギーシステムの技術転換。現在は宇都宮大学国際学部外国人研究者（2025年4-5月）として在籍中。

司会・通訳・解説

高橋若菜教授

博士（政治学）。日英で環境政治学を修学し、地球環境戦略研究機関研究員を経て2003年宇都宮大学に着任。近年は日本とスウェーデンの地域脱炭素・循環型社会形成をめぐるガバナンス比較を研究。



主催：宇都宮大学国際学部附属多文化公共圏センターUU3Sプロジェクト、授業（環境と国際協力）、宇都宮大学地域経営研究会CN部会

後援：NPO法人うつのみや環境行動フォーラム

問い合わせ先：宇都宮大学国際学部多文化公共圏センター

Tel：028-649-5196・5228 Webサイト：<https://cmps.utsunomiya-u.ac.jp/>

ZOOM申し込み <https://us02web.zoom.us/join/register/b4U5fB2mR2uPU1EtjX0UKw#/registration>